

平成25年度

人権のつどい

手話通訳・要約筆記あり

平成25年(2013年)

12月2日 月

13:30~16:20(13:00開場)

兵庫県公館 大会議室

神戸市中央区下山手通4-4-1(県庁南側)

参加希望の方は、事前に申し込みが必要です

資格 兵庫県内に在住、在勤、在学の方

定員 約500名

費用 無料

締切 平成25(2013)年11月15日(金)必着

方法 ハガキ・FAX・メールのいずれかに、①郵便番号・住所、②名前、③年齢、④電話番号、『つどい参加希望』と明記し、下記あてにお送り下さい。申し込みは先着順とし、ご入場できない場合のみ11月21日(木)までにご連絡いたします。

アクセス

駐車場がありませんので公共交通機関をご利用下さい。



- 地下鉄「県庁前」駅 西出口5すぐ
- JR、阪神電車 「元町」駅西出口から山側へ約5分
- 神戸高速鉄道 「花隈」駅東出口から東側へ約10分

送付先・お問い合わせ

(公財)兵庫県人権啓発協会 研修部

〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内
TEL:078-242-5355 FAX:078-242-5360
メール:info@hyogo-jinken.or.jp

13:30~13:55 開会行事

「のじぎく文芸賞」表彰式

14:00~14:40

ハートフル人権コンサート

音楽家

前川 裕美(まえかわ ゆみ)



小学生のときに進行性の難病のため、視力や視野を失っていきながら、音楽を学び続け、単身アメリカに6年間留学し、作曲・編曲・声楽・ピアノを学ぶ。現在、全国各地でトーク&コンサート活動を続け、人々に夢と希望を届けている。

14:50~16:20 講演

「いのちの終わりに見えること」

野の花診療所 所長/医師

徳永 進(とくながすすむ)



京都大学医学部を卒業後、診療所や鳥取赤十字病院等勤務を経て2001年から鳥取市内でホスピスケアのある「野の花診療所」を開設。いい最期を見届けていく医療を展開し、NHK等でも紹介される。1982年『死の中の笑み』で、第4回講談社ノンフィクション賞を受賞等、著書多数。

主催 兵庫県、兵庫県教育委員会、(公財)兵庫県人権啓発協会、
ひょうご人権ネットワーク会議、兵庫県人権啓発活動ネットワーク協議会



人権文化をすすめる